

東近江市 誕生までの歩み

八日市市・永源寺町・五個荘町・愛東町・湖東町・能登川町・蒲生町
合併の記録

空から見た東近江市







第1回法定合併協議会（H15.7.31）



新市名称決定（H15.11.4）



法定合併協議会看板設置（H15.6.27）



新市名称候補選定委員会（H15.6.16）



合併協定調印式 (H16.5.20)



調印式 首長・知事握手 (H16.5.20)



合併（廃置分合）申請書の提出 (H16.7.29)



東近江市の市章決定 (H16.10.28)



開庁式挨拶 中村旧八日市市長祝辞 (H17.2.11)



久田職務執行者式辞



銘板除幕



テープカット



東近江市議会 初議会 (H17.2.16)



初議会



中村市長初登庁 (H17.2.28)



第1回合併検討協議会（H16.12.22）



第1回法定合併協議会（H17.3.2）



法定合併協議会看板設置（H17.3.1）



合併協定調印式（H17.3.8）



合併（廃置分合）申請書の提出（H17.3.20）



新・東近江市発足式 中村市長式辞 (H18.1.1)



発足式 祝くす玉

1市6町 閉市・町式、閉庁式



八日市市



永源寺町



五個荘町



愛東町



湖東町



能登川町



蒲生町

【市 章】

東近江市の東（east）の「e」と「近」をモチーフに、グリーンは豊かな自然を ブルーは清らかな川と環境を レッドは活力を表現。全体として豊かさ・調和・発展・成長・連携・交流を表現し、新生「東近江市」の将来像をシンボライズしています。



東近江市



はじめに

平成17年2月11日、地方分権時代に対応する自治体づくりを目指し、八日市市・永源寺町・五個荘町・愛東町及び湖東町が合併し、7万9千人余りの人口を有する「東近江市」が誕生致しました。

また、平成18年1月1日には、東近江市と能登川町・蒲生町が合併し、人口11万8千人、滋賀県東部の中核都市として新たな「東近江市」が発足致しました。

東近江地域の合併につきましては、平成14年から協議が始まり、様々な枠組みが模索され、紆余曲折がありました。地方分権を着実に根付かせ、地方自治体の行財政を確固たるものにするため、また、均衡ある発展と住民サービスの安定と向上を目指して、各地域の歴史や文化等を大切にしながら合併に取り組んでまいりました。生活圏を共有する地域が、同じ思いに立ち、合併によるまちづくりの必要性を感じる中で住民皆様の意見を踏まえ、住民・議会・行政が一体となって合併が実現しました。合併を推進してまいりました一人として、今回の合併の成就是、市民の皆様の深いご理解とご支援、また、議会議員、合併協議会委員、国・県等関係各位の多大なご尽力によるものと深く感謝申し上げます。

まちづくりのステージは、鈴鹿から琵琶湖まで広がり、豊かな自然と歴史に彩られた東近江市が名実ともに滋賀県の中核を担う都市となりますように、市民の皆様とともに「美しい元気都市」の創造に取り組む決意であります。東近江市の発展のため皆様方の更なるご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

本書は、八日市市、永源寺町、五個荘町、愛東町、湖東町、能登川町、蒲生町の合併に至るまでの背景や経緯についてとりまとめたものであり、平成の合併記録の一つとなれば幸いです。

平成18年2月

東近江市長 中村功一